

I 平成 23 年度 活動報告

I 平成 23 年度（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）活動報告

1. 事業活動

総括

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、福島原発事故に伴う放射能問題が大きく、復興まではまだまだ多くの時間が必要である。他方、7 月から数ヶ月間発生したタイの大洪水においても、同地区へ進出している企業の多くが被災するなど、大規模自然災害の脅威をまざまざと見せつけられた。

しかしながら、産業界をあげた復興活動により、当初の予測を大幅に上回る速度で企業・工場の再稼働を実現させている。危機に直面した際の、日本のモノづくり企業の強みである団結力・技術力の高さを改めて実感させられた。さて、平成 23 年度の活動としては、これらの強みの源泉たる「強い現場づくり」を目指し、現場マネジメントを遂行できる人材育成を柱とした、企業体質強化の支援に取り組んできた。グローバル化に対応せざるを得ない近年の環境変化において、鍵となる人材の育成を強化することは、現場力が高い「日本企業らしさ」を持ち続けることにつながり、世界規模で競争が激化する中で確かな「強み」となります。JMS の活動が日本産業の生き残りを図る一方策となるよう、引き続き、普及・啓蒙・発展に努力していきたい。

① JMS 推進機構の活動

● 「当たり前のこと」実践豆知識 第 3 集の普及

平成 22 年度の当機構企画委員会 現場実践研究会の活動成果である同書の普及を展開した。企画委員各位の広報により幅広く紹介され、「当たり前」となっている自社の強みを考える資料等の活用が見られた。無償分を含めて、発刊から

平成 24 年 3 月末までの 1 年あまりの間に 1,407 部を頒布した。

● 「当たり前のこと」実践豆知識 第 3 集発刊報告会の開催

第 3 集の発刊を広く知らせ、実際の行動を促すという制作の意図を理解していただくため、「発刊報告会」を開催した。委員会内に結成した「現場実践研究会」の研究活動を紹介した内容となっており、直面する課題に果敢に取り組みながら、日々愚直にモノづくりを続ける 3 社の現場について、テーマである“伝える”に関連したマネジメントのあり方を発表いただいた。また、「鉄道車両製作における『当たり前』と『その海外展開』」と題した日本車輛製造(株)生島会長による基調講演では、本書のテーマに即して、日本を代表する同社の高度な技術と現場マネジメントについて、詳説をして頂いた。

● JMS 制定 10 周年特別講演会の開催

JMS 制定 10 周年の節目に当たり、JMS の発想者である日野自動車(株)蛇川相談役の著書「改革者 挫折を超えて (日経 BP 社)」の出版を記念し、特別講演会を企画し、開催した。同氏が歩まれた生産技術者・経営者としてのご経験を基に、長く厳しい環境が続く今だからこそ、業界を超えた“NIPPON BRAND”の確立と、再び技術力の高みを目指して山を登ること、また、JMS をグローバル・マネジメント・システム (GMS) としてバージョンアップすることの有効性など、現役世代の背中を押し勇気づける熱きメッセージをいただいた。

②企画委員会の活動

● 現場実践研究会の開催

JMS 制定活動の原点は、各社の現場を回りながら、現場運営における好事例や問題点についての忌憚ない議論を事実・実態に基づいて行うことであった。この原点に立ち返った活動として、平成 22 年度より企画委員会では、「現場実践研究会」という形式で、各社の優れた事例や問題点や課題について現場を見学し、

討議することを通じて、委員相互に高め合うことを行った。今回は、「売れるモノづくりを実現する現場マネジメント人材の育成」をテーマに各委員より意見を集め、議論を進めた。平成 23 年 5 月、「先進事例を学ぶ」ため、トヨタ自動車(株)グローバル生産推進センターを訪ね、「なぜ教えるかをどうやって分らせるか」「どのように定着させるか」を論点に、センター内の教育現場を見学・意見交換を行った。それを受け、第 1 回・第 2 回の研究会は、NEC アクセステクニカ(株)において、「海外での生産ライン立ち上げから日常管理まで担える人材の育成」を研究テーマに掲げ、国内で造り込んだ模擬ラインを海外工場へ転写し、現地と国内工場を結んで変化点の確認や指導ができる仕組みを構築する、一連の活動現場を提供いただいた。なお、この研究については、平成 24 年度上期でも継続して議論を行っていく。

● 「当たり前のこと」実践豆知識 第 4 集の制作

多くの企業現場に、今こそ求められている「売れるモノづくりを実現する現場マネジメント人材の育成」の実現を目指し、その支援となるようなツールとして、これまで 3 冊制作している「当たり前のこと実践豆知識」の続編となる第 4 集を問題提起編として制作した。現場実践研究会の議論を踏まえ、グローバル対応が避けられない昨今の環境下において、「当たり前」としたい現場を支えるマネジメント人材の育成について、どのような考えを基に取り組むべきかを主張する内容となっており、第 5 集に繋がる構成となっている。

また、平成 23 年 7 月に開催した同書第 3 集の発刊報告会及び平成 24 年 2 月に開催した JMS 制定 10 周年特別講演会の模様もレポートとして掲載した。

③中産連の JMS 活動

● コンサルテーションは 56 プロジェクトに取り組み、研修については、『モノづくりの再生と復権』と題して年間計画を編成し実施した。

● 組織を牽引する『部隊長づくり』をねらいとした長期研修第3期を実施

『自らの役割を徹底認識し、部下を動かし、組織を巻き込み、部下の力によって成果を引き出す能力』の醸成を目的に、1年間12回におよぶ実践型の通年研修として平成21年度より開始した『JMS管理能力向上プログラム』の第3期を行った。競争環境の激化に伴って、マネジメント現場では、負荷が一層重くなる管理職層の問題解決力、課題達成力が問われている。一方で、バブル崩壊後の採用抑制期に入社した層を中心に、それまで当たり前のように社内で培われていた管理能力が、十分に備わっていないことによる支障が現場で散見されるようになってきている。こうしたことを背景として本研修を企画した。少数精鋭方式で、毎回課題に取り組みながら、異業種間の相互交流を通じて、管理能力の向上を目指すスタイルが評価され、第3期は、11社16名が受講した。なお、平成24年4月に開講した第4期は、12社16名が受講している。

● 課題に対応できる『監督者の育成』をねらいとした長期研修第1期を実施

監督者として、『課題対応のために投入できる経営資源（モノ・人・金・情報・時間）を正しく把握し、自職場の課題を五大任務別（安全・品質・生産・原価・人事）に、優先度の高いものから迅速に対応できる実行力を身につける』ことを目指し、半年間4回におよぶ実践型の研修として『実践！TPSに基づくフォアマン育成研修』の第1期を行った。生産現場では、上位方針を自職場の課題に落とし込み、その課題に対してしっかりと目標を設定して確実に改善を推進する実行力のある監督者が不足している。こうしたことを背景に、JMS-P4「現場管理と改善」と関連の強いTPSの考え方をベースに、少数精鋭で毎回課題に取り組みながら、異業種間の相互交流を通じて、自分の現状の姿を認識し、監督者としての意識の向上を図った。第1期は15社20名が受講した。

2. JMS推進機構・企画委員会による活動

平成23年度開催は以下のとおり。

第1回企画委員会 平成23年4月22日

23年度計画案・見学会について検討

見学会 平成23年5月25日

トヨタ自動車(株)グローバル生産推進センターの視察と討論

第2回企画委員会 平成23年8月22日

現場実践研究会について検討

第3回企画委員会（第1回現場実践研究会） 平成23年10月27日

NECアクセステクニカ(株)の現場視察と意見交換

第4回企画委員会（第2回現場実践研究会） 平成24年2月20日

NECアクセステクニカ(株)の現場視察と意見交換

3. 広報・企画開発に関する活動

(1) 広報に関する活動

主な広報に関する事項は以下の通りである。

① JMS推進機構主催行事

【「当たり前のこと」実践豆知識 第3集 発刊報告会】

平成23年7月14日（木） 名鉄グランドホテルにて実施 128名参加

基調講演：日本車輛製造(株)代表取締役会長 生島 勝之 氏

事例報告：日本車輛製造(株)鉄道車両本部製造部部長 田山 稔 氏

ヤマハ発動機(株)AM事業部事業部長 沢井 誠二 氏

高周波熱錬(株)IHI事業部電機部部長 大宮 克己 氏

【JMS制定10周年特別講演会】

平成24年2月10日（金） ローズコートホテルにて実施 111名参加

基調講演：日野自動車(株)相談役 蛇川 忠暉 氏

「改革者 挫折を越えて」出版を祝う集い

② JMS 関連セミナーの開催

● JMS トップマネジメント編

【トップセミナー】

平成 23 年 11 月 25 日（金） ウィンクあいちにて実施

講師：中部産業連盟 JMS 事業部 佐々木 元

【「ジャスト・イン・タイム経営入門」発刊記念講演会】

平成 23 年 12 月 1 日（木） アルカディア市ヶ谷にて実施

講師：名城大学大学院 経営学研究科教授 河田 信 氏

中部産業連盟 JMS 事業部 佐々木 元

中部産業連盟 JMS 事業部 杉藤 里美

● JMS 各論編

【生産技術編】

平成 24 年 1 月 27 日（金） 中産連 東京本部にて実施

講師：中部産業連盟 JMS 推進センター 太田 昭男

【現場管理と改善編】

平成 24 年 2 月 22 日（水） 中産連 東京本部にて実施

講師：中部産業連盟 JMS 推進センター 太田 昭男

【現場管理と改善 海外特別編】

平成 23 年 8 月 31 日（水） 中産連ビルにて実施

講師：中部産業連盟 JMS 事業部委嘱コンサルタント 鈴木 雅文

平成 24 年 3 月 2 日（金） 東京八重洲ホールにて実施

講師：中部産業連盟 JMS 事業部委嘱コンサルタント 鈴木 雅文

【営業力強化プログラム】

平成 23 年度 中部・関東にて 6 回実施

講師：中部産業連盟 JMS 事業部委託講師 河辺 よしろう

●実践型通年プログラム

【JMS 管理能力向上プログラム】

平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月 中産連ビルにて実施

講師：中部産業連盟 JMS 事業部 太田 昭男 杉藤 里美

【実践！TPS に基づくフォアマン育成研修】

平成 23 年 7 月～平成 23 年 12 月 中産連ビルにて実施

講師：中部産業連盟 委嘱コンサルタント 野末 眞克 鈴木 勝年

③ JMS 関連教育講座の提供

● 通信教育教材での JMS 「現場改善マネジメント」メニュー提供

第 8 回理事会において、職業訓練法人 日本技能教育開発センター（理事長：石岡慎太郎）への「改善活動をマネジメントする着眼を学ぶ」ための講座を提供した旨、報告した。同講座は「カイゼンマネジメント入門」と銘打って 21 年 5 月より開講し、平成 24 年 3 月までの 2 年 11 ヶ月間の受講者数は累計で 205 名となっている。管理者になるための指定講座とした企業も現れはじめ、組織的な活用が見られるようになった。